

目指す学校像	(ア) 総合学科の学びを活かし、生徒が夢を持って、自らの進路実現に向けて充実した高校生活を送れる学校 (イ) 基礎学力の定着・向上、基本的な生活習慣の確立が図れ、社会的・職業的自立に必要な能力や態度が育める学校 (ウ) 恵まれた教育資源を活かした地域連携・地域貢献活動を推進し、生徒の自尊感情や前向きな姿勢が培える学校 (エ) 環境教育や環境学習の機会を充実し、環境に対する豊かな感受性と熱意、見識を持つ「人づくり」に取り組む学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
学習活動に意欲的に取り組む生徒が増えてきた。一方で、学習意欲が乏しい生徒もいるため、きめ細かな教育活動を展開し生徒の基礎学力向上に努めたい。また、授業参観などの校内研修を充実し、わかる授業の工夫を図りたい。	ア 学力の向上を図る。	①授業時間数と授業時間の確保を図る。 ②わかる授業を展開する。 ③授業方法に関する研究を推進し、学習に取り組む意識を高める工夫をする。	B
服装・頭髪および挨拶について、改善の様子が見受けられた。遅刻者数に課題があることから、多角的な指導を展開し生活習慣の確立を図りたい。	イ 基本的な生活習慣の確立を図る。	④遅刻・服装頭髪指導の定着を図る。 ⑤挨拶の励行、規則の遵守やマナーの向上を推進する。	A
スクールカウンセラーの積極的な活用により、一層の課題改善に努めたい。	ウ 教育相談の充実を図る。	⑥心の健康を大切にし、生徒の心の悩みを解決するため、教育相談の充実を図る。	A
部活動に意欲的に参加し、活動が継続できるよう一層の努力と工夫を重ねたい。また、ボランティア等の奉仕活動も取り入れ活性化を図りたい。	エ 特別活動の活性化を図る。	⑦部活動に意欲的に取り組み、継続した活動を行う。 ⑧HR活動・生徒会活動・学校行事の活性化を図る。	A
産業社会と人間の授業やインターンシップを通して望ましい職業観や勤労観の養成に努めた。一層の充実を図りたい。	オ 進路指導の充実を図る。	⑨個別面談を充実させ、進路意識を高め生徒の進路希望の実現を図る。 ⑩総合学科の学習やインターンシップの実施により、進路意識の高揚を図る。	B
公開講座として小学生を対象とした体験学習を実施し、地域貢献を図るとともに地域からの信頼確保に努めた。今後も継続し地域との連携・交流を深めたい。	カ 地域との連携・交流の推進を図る。	⑪農業施設・設備を生かして、開放講座などの実施により、地域からの信頼を確保する。	A

評価項目	具体的目標	具体的方策	番号	評価	次年度(学期)への主な課題	
教 務	地域や生徒の実態を把握し、特色ある教育課程の編成に努める。	中学校・地域との連携を図る。 生徒の多様な進路に応じた教育活動の計画を立てる。 本校の将来像を見据えた教育課程の編成を検討する。	⑪ ⑩ ①③	A B B	B 中学校訪問の分担を、その目的に沿って効果的に決定していきたい。 産社・総学係において、仕事の内容・分限等について全教員の共通理解を図ることが困難であったため、担当や学年の教員の連携がとりにくい部分が多々あった。係の在り方を再考する必要性がある。 本年度初めて「キャリアプランニングⅠ」を開講し、3年間の系統立てたキャリア教育実施を図った。様々な進路に関する教育活動は次年度以降も継続する。	
	魅力ある学校生活を目指しながら、授業の量的確保と質的充実を図る。	行事等の能率的な運営を図る。 授業終始時刻の厳守に努める。 出張・年休等における授業の確保(振替)に努める。	⑧ ① ①	B A B		B 填補の対応に苦慮した。填補依頼の仕組みを、全教員に改めて周知したい。 本年度は特別編成時間割を効果的に組み合わせることができ、大過なく効率的な運営を行うことができた。次年度も継続していく。
	自主的学習意欲を高める効果的な学習指導法の研究実践を図る。	各教科間の連携を密にし、生徒の実態に即した年間指導計画と、その計画に沿った学習指導ができるように努める。 「わかる授業」の実践及び授業の創意工夫ができるように研究授業の実施に努める。	①② ①②③	A B		
	系列の特色を生かし、魅力ある授業及び体験学習を展開し、学習意欲の向上を図る。	学習意欲の低い生徒・学力の低い生徒への計画的な指導を行う。 進路実現のため資格取得などの具体的目標を設定し、学習に取り組む姿勢や学習意欲を高める指導の工夫改善を図る。	①②③ ①②③	A B	A 各系列と連携をとりながら、講師を招聘して本校の特色を生かした行事や学習活動を実施することができた。生徒の授業に参加する態度が改善してきており、本校生の実情に合った「わかる授業」が充実していることが伺える。 資格取得の目標設定を各教科・系列と更に検討し、生徒に周知していきたい。	
	職員研修を推進し、資質の向上を図る。	研修を実施し、その成果や情報を教員間で共有できるように努める。	③	B	B 計画に沿って研修を実施できた。より多くの教員が参加できるよう、さらに充実した研修を計画したい。	

生徒指導	基本的な生活習慣の確立を図る。	週番活動および、さわやかマナーアップ運動を展開し、あいさつの励行を図る。	④⑤	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒との関わりを大切に、指導の充実を図る。</li> <li>学校全体で取り組む意識の高揚を図る。</li> </ul>
		服装頭髪指導を定期的に行い、身嗜みの徹底を図る。	④	A		
	交通安全教育の充実を図る。	交通立哨指導を秋の交通安全運動期間と毎月交通安全の日に実施し、事故防止に努める。	⑤	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全意識の高揚を図る。</li> <li>交通事故や不審者遭遇時の対応について理解させ、適切な行動をとることができるよう指導の徹底を図る。</li> </ul>
		自転車点検を定期的に行い、不良箇所の改善と安全運転を呼びかける。	⑤	A		
		原付通学者に対して許可試験と実技講習会を実施し、交通ルールとマナーの確認および、運転技術の向上を図る。	⑤	A		
		交通講話を開催し、生徒の安全意識の高揚を図り、事故防止に努める。	⑤	A		
	教育相談を充実し、生徒理解を深める。	二者面談を行い、生活状況把握や悩み事等の相談の機会を持ち、生徒理解に努める。	⑥	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修会の充実を図る。</li> <li>関係機関との適切な連携協力に努める。</li> </ul>
		三者面談を行い、家庭との連携を深める。	⑥	A		
		スクールカウンセラーを活用し、生徒の心の悩みを解決する。	⑥	A		
		生徒指導研修会を行い、生徒理解に基づいた指導方法の確立を図る。	⑥	A		
	問題行動の未然防止に努める。	校内巡回指導を行い、生徒の状況把握と問題行動の未然防止に努める。	④⑤	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員側の危機意識を高める。</li> <li>インターネットを介した問題行動に対する指導の徹底を図る。</li> </ul>
		校外巡回指導を行うとともに、関係機関と連携し問題行動の未然防止に努める。	④⑤	B		
ケータイ・ネット安全利用についての講習会を開催し、家庭での携帯電話利用に関するルールづくりやフィルタリングの活用を図る。		⑤	B			
不審者や校外での問題発生時に迅速に対応できるよう努める。		⑤	A			
進路指導	人間としての在り方生き方の指導の一層の充実。	ガイダンス機能のより一層の充実を図る。	③⑦	A	B	各学年の実情に応じて、前例にとらわれず有意義な講演会等を実施することができた。ただし、個々の生徒にとってどの程度の進路意識の涵養につながったかは定かでない。意識を高く持ち、進路実現に向け主体的に取り組んでいる生徒が多く見受けられる反面、足踏み状態の生徒もいる。生徒との関わり方について、学年の枠を超えて情報交換ができるとよい。
	望ましい職業観・勤労観の形成と主体的な進路選択能力の育成。	自らの意思と責任で、進路を主体的に選択する能力や態度を育成する指導の工夫。	③⑦⑧	B		
		インターンシップや進路講演会を通して、職業選択や職業適性について考えさせる機会を与える。	⑦⑧	B		
		進路相談の計画的・継続的な実施。	⑦	B		
学年間での情報の共有。	各学年での新たな取り組みについて情報の共有化を図る。	⑦	B			
保健厚生	心身の健康に対する意識を高める。	保健便りや保健ニュース等の掲示により、情報を提供する。	③④	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断もれ者の指導を徹底する。保健行事をより充実させ心身の健康・安全意識の高揚に努めたい。</li> </ul>
		教科「保健体育」と連携し、防止教室や性に関する講演会を実施する。	①③	A		
	校内環境の整備・充実を図る。	ゴミの分別処理を徹底し、トイレや手洗い場等における衛生管理の維持改善を図る。	③	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒数と常勤教師の減少に伴い、清掃箇所数の確保できなくなってきた。環境整備の備品充実と活動の円滑化を図り、校内の美化に努めたい。</li> </ul>
		校内美化日を計画し、学習環境を整備する。	③	A		
安全対策の強化に努める。	緊急対策マニュアルを周知徹底する。	③④	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急対策マニュアルを、毎年度一回は見直したい。地域との連携による防災力の強化を図る。</li> </ul>	
	危機意識を高め、安全確保につながるように避難訓練の内容を工夫する。	③⑧⑩	A			

図書	図書室の資料の充実に努める。	幅広い蔵書構成を考えながら、資料の充実を図る。	③	A	A	視聴覚教材の充実と活用の推進を図る。 図書館利用のマナーを徹底させる。
		職員・生徒の希望図書を購入する。	③	A		
	視聴覚資料の収集・整理・保管に努める。	視聴覚教材を整理し、さらに授業や学校行事等で使用するビデオ・DVD等を購入し使いやすく提示する。	②	B	B	
	読書に興味関心を持たせるような指導に取り組む。	校内読書感想文コンクールを実施する。	③	A	A	
		上記コンクール入選者の表彰および入選作品集を作成する。	③	A		
	図書委員会活動の活性化に努める。	カウンター作業や書架の整理をする。	⑧	A	B	
	各種統計を作成する。	⑧	B	A	来年度も書架の整理を引き続き行う。 図書委員の活動を積極的に行わせる。	
図書室の広報活動に取り組む。	図書館報, 図書館だよりを発行する。	⑧	A			
	新規購入図書や各種統計を掲示する。	⑧	A			
渉外	保護者の各行事への参加意欲の向上を図る。	各行事に創意を加え、参加保護者の定着と意欲向上をはかる。	⑪	A	A	生徒指導部と連携しPTA総会に携帯安全教室を加え、保護者の意識を高めることができた。  評議員会や本部支部長会議において積極的な意見を頂き、各種活動の充実を図ることができた。
	継続的な重点行事を掲げその充実を図る。	PTA総会とPTA支部会を同時開催し、保護者の負担軽減を図る。また内容の精選・充実を図り、その活動の支援を行う。	⑪	A		
	教職員と保護者の連携を密にし、生徒の健全育成を支援する。	PTA総会や支部活動、PTAだよりなどで保護者と教職員間の連携を図る。	⑥	B		
特別活動	生徒会活動を活発に行うようにする。	「さわやかマナーアップ」運動の取り組みとして、朝の立哨指導に参加させる。	③⑥	A	A	各行事において、実施要項作りを生徒会に考えさせる。生徒会の意見交換の場として生徒会室を活用するように促す。
		学校行事の運営に積極的に携わるとともに、意見交換の場を多く設ける。	③⑥	A		
	望ましい集団生活を通して、自主的・実践的な態度を育てる。	文化祭で生徒の発表の機会を設け、全生徒が参加出来るよう工夫する。	③	B	B	文化祭の時に看板コンテストで優劣を判断するために全生徒に投票させる。
		空き缶回収のボランティア・募金活動に積極的に参加させる。	③	A		
部活の推進をはかる。	部活動見学期間を設け参加を働きかける。	⑤	A	A	次年度の部活動見学機関を設ける。	
農場	勤労の尊さを自覚させ、働く喜びを感得させる。	インターンシップを通して望ましい勤労観・職業観を養成し、働く喜びを感得させる。	⑨⑩	A	A	関係機関との連携を密にし、受け入れ先の開拓に努める。また、両系列とも同じ時期に実施できるよう働きかける。
	特色ある施設・設備を生かし、実験実習の充実を図る。	生徒一人一人の能力に応じた実験・実習を展開し、興味関心を高め、基礎的な知識・技術の習得を図る。	①②③	A	A	各単元、毎時間の目標を明確にして興味・関心を高める。
	学校農業クラブ活動を充実させることにより、各種の行事で活躍できる生徒を育てる。	各科目において自らの目標をもち、自ら課題を解決しながら自ら学ぶという姿勢を身につけさせる。	①⑧⑨	B	B	各科目において学校農業クラブ活動の充実を図る。
事務	会計の効率的で適正な執行	教育活動が円滑に進められるよう適時・効果的な予算執行に努める。	⑦	A	A	教育活動が円滑に行えるよう、予算面やその他の事項において教育職員のサポートを行い、より一層の効率的で効果的な予算執行に努めたい。 加えて、生徒・職員の安全確保に重点を置き、施設・設備の適正な管理に努めたい。
	開かれた学校づくりへの取組	節電・節水に努め、光熱水費使用量の削減を図る。		B		
		電話での応答や来校者への丁寧な対応に心がける。 学校行事等の広報に努める。	⑥⑨	B		
施設、設備等の適正な管理	安全な教育環境を保持するため、施設・設備を適切に管理する。		A	A		

1年次	基本的な生活習慣の確立	基本的な生活習慣を身につけ、はじめのある行動をとれるようにする。	④⑤	A	A	・年間を通して基本的な生活習慣の確立や話を聞く態度を養うことができた。 ・基礎学力の定着を図るための取り組みを充実する。
		基礎学力の定着を図る。	①②	B		
		挨拶、返事を心がけさせ、人の話をきちんと聴く態度を養う。	⑤	A		
	潤いのある人間関係の構築	集団の中で、全体に貢献する態度を身に付けさせるとともに、そのことを通して自己の長所に気付かせる。	④⑤	B	B	・集団生活を送る上で、規律ある行動ができた。次年度はさらに、ひとりひとりが全体を見て、友人と協力して行動できるよう継続して指導したい。 ・相手の気持ちや考えを尊重したり、相手の立場に立って行動できるよう指導したい。
		思いやりのある心を身に付けさせ、豊かな心を育む。	⑥	B		
	主体的な高校生活の確立	やらなければならないことには最後まで確実に取り組みませ、責任感と自信を養う。	⑤	A	A	・課題に対して真摯に向き合い、最後まで取り組むよう指導できた。
学校生活に前向きに組みませ、よりよく生活しようという態度を養う。		⑤⑥	A			
2年次	基本的な生活習慣の確立	服装頭髪指導を定期的に行い、保護者と連携を密にして、きちんとした身だしなみを身につけさせる。	④	A	B	進路実現をめざし、服装や頭髪、言葉づかいなどに高い意識を向けさせるよう、生活指導に取り組む。
		責任とはじめのある、落ち着いた行動と生活態度を身につける。	④⑤	B		
	潤いのある人間関係の構築	誰に対しても優しい気持ちで接し、いじめのない明るい高校生活を送る。	⑥	A	A	学校行事や学年行事を通し、各クラスともに一体感が生まれた。また、穏やかな人間関係を構築できるようになったという点で、生徒それぞれに成長が見受けられた。来年度に向けて、進路実現に向けて学年全体で頑張る雰囲気づくりができるよう指導する。
		保護者との連携を密にし、問題解決に向けて常に調和の心で対応する。	⑥	A		
	進路意識の高揚	インターンシップで進路意識を具体化させると共に勤労の大切さを実感させる。	⑩	A	A	今年度は、インターンシップをはじめとする様々な進路関係の行事を通して、進路意識の高揚を図ることができた。これらの行事は、特に3年次進級を目前とした時期に行うことで、大変有意義であったように思う。来年度に向け、各生徒が高い進路意識を継続して持ち、主体的に進路実現に取り組めるように指導していく。
		個別面談で生徒・保護者の意向を聞き、生徒の個性に応じた適切なアドバイスをを行う。	⑨⑩	A		
3年次	基本的な生活習慣の確立	進路実現に向け、服装や頭髪、言葉遣い等について生徒に繰り返し指導する。	④	B	B	遅刻する生徒が多く、基本的な生活習慣が確立できたとは言いがたい。学年で奉仕活動等を取り入れたが、効果は薄かった。より効果的な方法を考える必要がある。 学校行事ではリーダーとして活躍できる生徒が増えた。
		保護者との連携を密にして生徒理解に努めると共に、最終年次として積極的に学校行事等に参加させ、充実した学校生活を送らせる。	⑧⑨	A		
	進路に応じた学力の向上	検定・資格試験・模擬試験に挑戦することにより学力の向上を図る。総合学習の時間を利用し、ビジネスマナー等の実践力を養う。	⑩	A	A	ハローワークの協力のもと、社会人としての心構えとして、様々な講習を行いビジネスマナーについて学習することができた。今後も継続していきたい。
	希望進路の実現	検定・資格試験に合格することにより進路実現の一助とする。総合学習の授業を通し、社会人としての基本的な知識を身につけ	⑩	B	B	情報ビジネス系列を中心に資格試験に挑戦する生徒もいるが、合格率が低い。生徒の資格取得への熱意を、より高揚させることが課題である。進路については、就職先に恵まれたことで、ほぼ全員が決定した。
二者・三者面談を通して適性に応じた進学先・就職先を決定する。		⑨	A			

国語科	国語を的確に理解する能力を育てる。	漢字力を養成するために、授業において計画的・段階的な指導を行う。	①	A	A	各々の授業において、前年度にとらわれず必要と思われる内容を展開している。
	言語感覚を磨き、意思を伝える能力を育てる。	個々の生徒が、意見・感想を書くことができるような表現指導を行う。	①	A		
	思考力や考え方を深め、心情を豊かにする態度を育てる。	多くの作品に親しむことにより、多様な価値観に気づかせる。	①	A		
地歴・公民科	生徒の学力に応じた分かり易い授業展開する。	授業計画は都度都度見直して、生徒の実態に合わせて柔軟に変更する。	①②③	A	B	内容理解の前提となる復習事項を取り入れながら、無理のないペースで学習を進めることができた。生徒が授業に参加するための仕掛けを各教員で工夫し実施することができた。
		授業終了後、指導内容・方法について点検し、改善すべき点を考える。	①②	B		
	基礎学力の向上を推進する。	授業内容を基礎的・基本的事項に精選し、丁寧な解説を通じて確実に理解させる。	①②	A	A	小テストや課題・定期考査前の補講を通して、生徒の基礎学力を向上させることができた。教室内のスクリーンを用いたり、映像教材を用いることが、生徒の興味関心を高め授業内容のより深い理解につながった。
		練習問題プリント等を利用した復習を行い、学習内容の定着を図る。	②③	A		
		定期考査の前には総復習を行い、考査後は定着度の低い部分について再度解説して学習させる。	②③	A		
	視聴覚教材の積極的な利用を通じて、ビジュアルな形での理解を図る。	①③	A			
	生徒が学習内容をより具体的に把握できるように、授業方法の改善に努める。	教科内の相談を密にし、授業内容・方法について互いにアドバイスし合う。	③	A	A	教科内の構成員が少ないため、連絡や情報交換は密に行えた。学外の研修会にも数回参加し、新たな知見を得る機会を作れた。次年度以降の授業に活かしていく。
様々な機会を利用して自己研修に努め、その成果は教科会で互いに情報交換する。		②③	A			
年数回、教科全員で学校内外での研修会を企画し実施する。	②	B				
数学科	基礎学力の定着	基礎学力検査の結果を利用し、習熟度別授業や個に応じた指導を行う。計算プリントを実施し、基礎計算能力を向上させる。	②③	A	A	計算プリントの実施状況や出来具合を教員間で共有する仕組みを構築する。
		基礎学力検査の内容を見直し、生徒の能力を正確に分析する。	③	B		
		習熟度別授業および系列別の授業において、机間指導を増やして個に応じた指導を行う。必要に応じて、数学を得意とする生徒の力を伸ばす指導を行う。理解が不十分な生徒に対しては、補習を実施し、理解度の向上を図る。	①②	A		
		長期休業中の課題に加えて、定期課題を課す。提出物の機会を増やし、こまめに生徒の学習状況を把握する。	②③	A		
数学が分かる喜びを実感する授業への取り組み	1年次のティームティーチングの授業においては、2人の教師の連携を密にし、協力して授業を実施する。机間指導の分担や流れを確認し、多くの生徒に対する適切な指導を図る。	②	A	B	教務部等と連携し、数学検定の受検に向けた具体的な目標を立てて生徒に周知する。	
	授業内に数学検定の問題や就職試験の問題を取り扱うことで、生徒の意欲を向上させ、検定試験合格や就職内定に向けて適切な指導を行う。	③	B			
理科	知的好奇心や探究心を喚起し、自然に関する興味・関心を養う。	授業の展開に創意工夫をこらし、魅力ある教科指導に努める。	②③	A	A	・身近な現象等に触れながら授業を進め、生徒の自然に関する興味関心を高めた。 ・映像教材や模型を活用し、分かりやすい授業の展開を図った。
	科学的に自然を調べる方法や技術を身に付け、問題解決能力を養う。	観察・実験を適切な時期に行い、かつ事前指導や考察の時間を十分に取るようにする。	①	A	B	・観察・実験を適宜取り入れ、生徒が体験的に学習できるよう授業を展開した。 ・アクティブラーニングの手法を活用し、生徒が自ら考察したり、意見を発表したりする時間を充実させていきたい。
		生徒が自分の意見や考えを検証したり、発表したりできる機会を適宜設ける。	②③	B		
	自然に関わる基礎基本的な知識を身に付け、科学的な自然観を育成する。	重要事項をおさえ、必要に応じて反復練習や小テストを取り入れ、基礎基本の徹底を図る。	②	A	A	・小テスト等を適宜行うことで重要な知識の定着を図ることができた。 ・理科に苦手意識のある生徒もよく理解できるよう努めたい。 ・理科を学ぶに当たり必要とされる一般的な知識についても身に付けられるように支援していきたい。
基礎基本から、自然を統合的にみる見方や科学的なものの見方を養えるよう、分かりやすく授業を展開する。		②③	B			

英語科	基礎学力の定着を図る	スプリングコンテストや生徒個別の音読テストを実施するなど、基礎学力の定着を図る。	①	A	A	スプリングコンテストの実施や習熟度別授業を展開、基礎学力の定着を図ることができた。	
		習熟度別を併用した少人数授業を展開し、個々の能力に応じたきめ細かな指導を行う。	①	A			
	英語が分かる喜びを実感する授業の展開に努める	ALTとのティームティーチングを活用し、英語に興味・関心を抱かせる授業の創意工夫に努め、コミュニケーション能力の育成を目指す。	②	B	B	ALTとのTTを活用することにより、生徒の興味・関心を引き出すことができたが、生徒の実態に合った指導法の改善が必要である。	
		教師間の連携を密にして、生徒の進路に応じた指導法、教材を工夫改善する。	①	B			
資格取得の充実を図る	英検取得に向けて、級別または個別に課外を実施し、計画的・段階的な指導を行う。	①	A	A	英検では、級別に分けて指導するなど、計画的・段階的に十分な指導ができた。生徒の頑張りにより、準2級合格という結果を残すことができた。		
家庭科	基礎的な知識と技術の向上を図る	個々の能力に応じた授業の展開と基礎学力の定着。	③	A	A	技術検定の合格に向けて、個々の能力に応じた指導を工夫する。	
		学習教材を精選し、生徒の興味・関心を高め、積極的な授業への参加を促す。	②③	A			
		技術検定の受験により、食物調理、被服製作及び保育における資格取得の充実を図る。	③	A			
	実験実習による興味・関心の育成	生徒の実状に合わせた実験・実習を通じて、衣生活、食生活、保育などの基礎的な知識と技術を習得させる。	①②③	A	A	実験・実習の授業において基礎的基本的な技術の習得を図る。	
	問題解決学習の充実	ホームプロジェクトの実施により、生活分野における実践力の向上に努める。	③⑩	A	B	環境や資源など身近な問題に取り組むことで、問題解決能力を養い、実生活の充実向上を支援する。	
環境・資源等の社会問題に対する知識と理解を深め、問題解決能力を養う。		③	B				
保健体育科	基礎体力の向上を図る。	体力トレーニングを継続的に実施し、生徒の体力向上に努める。特に、必修種目については、生徒及び保護者に周知し完全実施に努める。	②③	A	A	体育の授業では、体力向上を目指した取り組みをしてきたが、体力・運動能力テストの結果等を見ると、本校生徒のレベルは非常に低いのが現状である。来年度も引き続き体力の向上を目指して授業に取り組む。	
		生徒の体力に合わせ、運動時間の確保に努める。	①②	A			
	集団行動の充実を図る。	集合、整とん、列の増減、方向変換、挨拶等を継続的に指導し、集団行動に対する意識を高める。	②③	A	A	けじめある学校生活を送らせるためにも、引き続き高い意識で集団行動に取り組ませる。	
	基本的な生活習慣の確立を図る。	健康の保持増進についての知識を学び、実践力の育成に努める。	①②③	B	B	生徒にとって身近なテーマを取り上げるなど、わかりやすい授業の展開に努め、実践力の育成を図る。	
芸術科	基礎学力の向上を図る。	生徒一人ひとりの能力に応じた分かりやすい授業の創意工夫を行う。	②	A	B	生徒が個々の能力に応じて主体的に取り組める指導法や教材の展開を進める。	
		生徒が自主的に取り組む指導を図る。	③	B			
	感性と技術の向上を図る。	芸術における基礎・基本を身に付けさせ、感性を育てる。	②	A			A
	魅力的な授業の展開を図る。	生徒を引きつける魅力的な授業の展開を図る。	③	A			A
資格取得の充実を図る。	硬筆検定・毛筆検定等の資格取得に向け、指導・助言を充分に行う。	③	B	B			

情報科	情報機器の基礎的な知識と技術を高める。	中学校での学習の程度を踏まえ、生徒のレベルに伴った指導を行う。	①	A	A	個に応じた丁寧な指導に努め、基礎的な知識と技術の習得を図る。
		実践的な実習を通して、基本的な情報機器活用の技能を習得させる。	①	A		
	情報を主体的に活用する態度および実践力を育てる。	情報通信ネットワークの適切な活用を積極的に取り入れる。	①	B	B	生徒の主体的な学習に努め、理解の深化を図る。
	情報社会に参画する意欲の向上を図る。	情報モラルと情報セキュリティ意識の育成を目指す。	③	A	A	各種講演会および、新聞記事を活用した授業を展開するとともに、授業形態に工夫を凝らし、生徒の興味関心を高める。
商業科	基礎・基本的な学力の向上を図る。	小テストを行い、学習の理解度を把握し、基礎的基本的な知識の向上に努める。	①	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に基づき、計画的な指導に努める。</li> <li>知識の活用を目指し、実践的な学習に努める</li> </ul>
		興味・関心の持てる教材を活用し、分かりやすい授業展開に努める。	①②	A		
	商業人として社会に通用する能力を育てる。	身近な話題を取り組む授業を展開し、学習内容の理解を深めさせる。	①②	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の一員としての在り方を意識させる。</li> <li>自ら考え発表に繋げることで知識と理解を高める。</li> </ul>
		ビジネスを学ぶ人間として、社会のモラル・ビジネスマナーの高揚を図る。	①	A		
	資格取得を支援する。	資格取得に対する意識付け等、資格取得に向けた指導を行う。	①③	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かる授業を展開する。</li> <li>理解が進んでいない生徒への働きかけとして、課外指導の充実を図る。</li> </ul>
補習等を行い、検定に合格できる能力を養う。		①②	C			
判定基準	A:大変良くできた      B:良くできた      C:やや不十分      D:不十分					